

	福島県		県中地域				須賀川・岩瀬地区				石川地区				田村地区			
	第42週	第41週	第42週		第41週		第42週		第41週		第42週		第41週		第42週		第41週	
	感染症動向	感染症動向	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報
インフルエンザ	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	13	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	61	38	16	0	5	0	1	0	4	0	0	0	0	0	15	0	1	0
感染性胃腸炎	103	79	14	6	10	6	13	2	8	3	0	1	0	1	1	3	2	2
水痘	12	7	5	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4	1	1	1
手足口病	137	153	44	8	33	9	38	6	27	6	0	1	0	2	6	1	6	1
伝染性紅斑	10	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発疹	26	28	6	0	2	0	5	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0
百日咳	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
ヘルパンギーナ	31	22	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	30	26	17	39	7	13	1	0	1	0	0	4	0	1	16	35	6	12
RSウイルス感染症	55	70	2	0	3	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	/	0	/	0	/	0	/	0
流行性角結膜炎	13	7	0	0	0	0	0	0	0	0	/	0	/	0	/	0	/	0

【感染症発生動向調査】 ※定点医療機関からの情報をもとに集計 【学校欠席者情報】 ※保育園、幼稚園、小中学校、高等学校の欠席者情報です。

県中地域の状況

〈県中地域で手足口病の流行が続いています〉

県中地域で、手足口病の流行が続いています。手足口病は頬の内側や舌、手や足などに現れる水疱性の発疹を主症状とした急性ウイルス感染症で、乳幼児を中心に流行します。乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは、集団感染が起こりやすいため特に注意が必要です。一般的な感染対策は、流水と石鹸でしっかりと手洗いをする、排泄物を適切に処理すること等です。手足口病は症状が見られなくなった後も、2~4週間にわたり、便などからウイルスが排泄されるため、注意して下さい。

インフルエンザの流行に備えましょう

インフルエンザの流行を前に、西日本を中心にインフルエンザの患者が増えはじめています。季節性インフルエンザは流行性があり、いったん流行が始まると、短期間に多くの人へ感染が広がります。日本では、例年12月~3月が流行シーズンとされています。早めの対策を心掛けましょう。



インフルエンザの予防について

① **流行前のワクチン接種**

インフルエンザワクチンは、**感染後に発症する可能性を低減させる効果**と、**発症した場合の重症化防止**に有効と報告されています。

② **飛沫感染対策としての咳エチケット**

インフルエンザの主な感染経路は咳やくしゃみの際に口から発生される小さな水滴（飛沫）による飛沫感染です。**咳やくしゃみを他の人に向けて発しない**、また、**咳やくしゃみなどが出るときはできるだけマスクをする**など、普段から**咳エチケット**を心がけてください。

③ **外出後の手洗い等**

流水・石鹸による手洗いは、手指など体についたインフルエンザウイルスを物理的に除去するために有効な方法であり、**インフルエンザに限らず接触や飛沫感染などを感染経路とする感染症の対策の基本**です。また、インフルエンザウイルスはアルコールによる消毒も有効であるため、**アルコール製剤による手指衛生**も効果があります。

④ **適度な湿度の保持**

乾燥しやすい室内では、**加湿器などを使って適切な湿度（50~60%）を保つ**ことが有効です。